

10 現代文単語 確認テスト

クラス
番 号
氏 名

/50点

① 次の空欄に入る言葉を、それぞれ後から選べ。(各5点)

・ 気に入らないモノは、灰皿一つだって自分の部屋に置きたくない、という排除の **A** だって、モノへのこだわりの裏返しであらわれである。
(上野千鶴子「私」探しゲーム)

- ① 科学 ② 美学 ③ 博学 ④ 実学

・ 創造することが、もし、確実な前提条件から、既に確立したルールに従って論理的な **B** を積み重ねていくことでしかないとしたら、そこにはなんの新しいものも生み出されるはずはない。コンピュータが基本的に新しいものを生み出せない理由が、まさにここにある。
(茂木健一郎「脳と創造性」)

- ① 帰納 ② 演繹

・ では、神のいない世界、人間中心のこの世界で、社会を俯瞰し、人間が構成するさまざまな共同体を **C** し、社会を客観的に捉える視点、メタ・レベルの視点とは誰の視点なのか？
(岡真理「記憶／物語」)

- ① 内在 ② 表象 ③ 超越 ④ 想起

・ 世間には、親切なふりをして他人を利用しようとうかがう **D** な人があふれている。

- ① 執拗 ② 真摯 ③ 狡猾 ④ 詮索

・ ヨーロッパの宮廷道化師は多くの場合、単に君主を笑わせ楽しませるだけの存在ではなかった。彼の提供する笑いの中には、しばしば辛辣な批判や **E** が含まれていた。
(井上俊「おどける」)

- ① 告白 ② 賛美 ③ 称揚 ④ 諷刺

② 次の言葉の意味に近いものを、それぞれ後から選べ。(各5点)

A プライド

B エスプリ

- ① 機知 ② 享楽 ③ 美学 ④ 趣向 ⑤ 矜持

③ 次の空欄に、それぞれ漢字一字を入れよ。(各5点)

A 大人が、まず、そうした気分を利用して、消費生活を謳 **□** し、パブルにおどった。
(齋藤孝「子どもたちはなぜキレるのか」)

B 熟読したもののほど綺麗に忘れる、と言えは詭 **□** に聞こえるが、実際にそうなのだから仕方がない。感銘を受けた覚えだけが残る。
(古井由吉「本棚と老年と」)

C 弁 **□** 法とは、矛盾を解消し高い次元へと発展する動きである。

		③		②		①	
C	A	A	E	C	A		
	B	B		D	B		